

矢又川の水質と水生生物の調査

水産科 2 年 岩崎洋大 鈴木一智 鈴木俊介

1. はじめに

僕たちが研究を始めた理由は、馬頭高校付近の川を見て比較的キレイな川だと思いその川はどれくらいキレイなのかということに疑問をもち水質や水温調べを中心に調査を行いました。

さらに矢又川付近に捨てられているゴミを調べる方法をとりました。このような調査を 1 年間課題研究の中で行いました。

また、その河川に住んでいる水生生物を採取し、どのような生き物がいたか採取し、調べてみました。

2. 道具と方法

①道具

水深計・・・矢又川の水深を計る。

水流計・・・矢又川の流れを計る。

水温計・・・その日の矢又川の水温を計る。

採集する網・・・矢又川に生息する水生生物を採取するため。

ストップウォッチ・・・水流計を計るときに時間を計る。

カメラ・・・採取した水生生物や矢又川の現場を撮影する。

トレイ・・・採取した水生生物を入れるため。

胴長・・・矢又川の水深が深い所から生物を採取する時に使用。

長靴・・・矢又川の浅い所で生物を採取する時に使用。

②調査方法

矢又川へ行き、矢又川の上流から下流の中でいくつかポイントをしばり水深、水流、水温について計測を行いました。水中の生物（主に魚）は網を使い、捕獲した水生生物はトレイに置いて集め最後に分類を行いました。魚の種類で水質を調べることも行いました。

③調査項目

ゴミの量、水の色、泡、水の臭い、川底の感触、水温、流速、水生生物の生息の八つの項目について調査しました。

3. 結果

ゴミの量・・・黒マルチビニール・長靴・タオル・ビニール・カップ麺の容器・肥料袋・ペットボトル・ガスボンベ・ハイヒール・燃えたボトル・除草剤の容器・空き缶などがあった。

水の色・・・濁りがない。

泡・・・なかった。

水の臭い・・・無臭。

川底の感触・・・少しヌルヌルしていた。

水温・・・季節によって変化する。

流速・・・天気によって変化する。

水生生物の生息・・・ツチガエル・コオニヤンマ・アカハライモリ・ハグロトンボ・アメリカザリガニ・サナエ・ヒゲナガカワトビケラ・ヒラタドロムシ・チラカゲロウ・カワニナ・ヒラタカゲロウ・カワムツ・アブラハヤホトケドジョウ・シマドジョウなど。

4. 考察

ゴミの量、水の色、泡、水の臭い、川底の感触、水温、流速、水生生物の生息の結果から、矢又川の水質と環境はきれいということがわかりました。矢又川では、きれいな川に生息する魚がいることから矢又川はきれいな環境であることがわかりました。

5. まとめ

今回の調査を通して矢又川では、たくさんの種類の水生生物がいたことから矢又川の環境はきれいであることがわかりました。

機会があれば水温や水質を今より細かいところまで調べたいと思います。

